

医療通訳や翻訳デバイス等に関する 論点整理と今後の方向性

第2回 訪日外国人旅行者等に対する医療の提供に関する検討会
平成31年(2019年)1月25日

厚生労働省 医政局 総務課 医療国際展開推進室

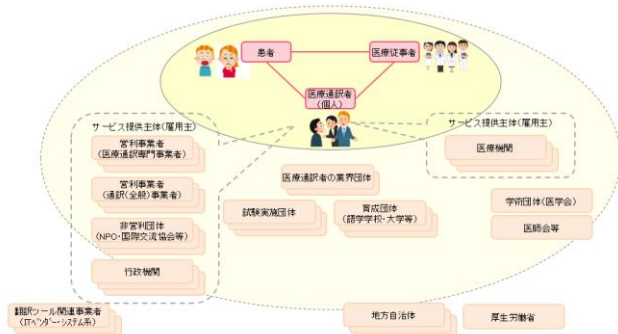
(1) 本日の議論の整理

- 本日の検討会では、医療通訳や翻訳デバイスに関して、様々な立場からご意見を頂いた。
- 厚生労働省では医療通訳者の必要性を理解し、これまで以下の取組を行ってきた
 - ・ 医療通訳の育成カリキュラム・テキストの作成
 - ・ 医療通訳の認証制度の検討
 - ・ 医療通訳者の配置の財政的支援
 - ・ 電話医療通訳の利用促進(インターネット回線や情報通信端末を用いた通訳端末を含む)
- 医療通訳にかかわる主な課題として、①患者から医療通訳者へのアクセス(医療機関からの適切なサービス提供や、医療通訳者の供給確保)、②質の担保、③費用の問題があると考える。

【議論していただきたいこと】

- 医療通訳や翻訳デバイス等のサービスには、どのような特徴があるか。また、医療機関は、必要とされる場面に応じて、どのようなサービスを利用すべきか。
- 医療機関、医療通訳者・サービス提供事業者等の各関係者は、今後、どのような取り組みを行うべきか。

(再掲)医療通訳に関する主なステークホルダー



(再掲)医療通訳に関する主な課題

- (患者から医療通訳者への) **アクセス**
- ・ 医療機関は、医療通訳サービスを適切に提供しているか
- ・ 医療通訳(事業)者は、必要とされる量の医療通訳を供給しているか(特に少数言語に対応可能な医療通訳者)
- ・ 医療通訳の質はどのように担保されるべきか
- 質**
- ・ 医療通訳に適切な対価が支払われ、業として自立できているか(補助金やボランティア頼みにならない必要)
- 費用**
- ・ 翻訳技術の向上に伴い、新しいデバイス等で、代用可能な要素があるか
- その他**

1) 「医療機関における外国人旅行者及び在留外国人受入体制等の実態調査」(平成28年 厚生労働省)では調査対象の医療機関のうち、医療通訳を利用した経験がある医療機関は全体の12.7%であった。

(2) 医療通訳や翻訳デバイス等の今後の方向性(事務局案)

- 医療機関においては、様々な形体の医療通訳や翻訳デバイスのサービス提供がみられるなか、各サービスの特徴を理解し、必要とされる場面に応じて、適切なサービスを患者に提供する必要。
- 医療通訳者やサービスを提供している各事業者は、それぞれの特徴を活かし、切磋琢磨しながら、自主的なとりくみを行うこと(質の改善を含む)が期待される。
- 関係者が集まった連絡協議会の場が設定されたところであり、今後は健全な市場が形成され、利用者にとって有益なサービスが提供されることが望ましい。
- 行政としては、民間の市場が成り立たない部分等において、支援していきたい。

医療通訳や翻訳デバイス等の特徴(フレームの案)



医療機関の特徴 (必要とされる場面)

今後のあるべき像

評価軸		医療通訳 (病院雇用)	医療通訳 (派遣式)	電話通訳 (ビデオ通訳)	ハイブリッド型	翻訳デバイス
アクセス	時間 (いつでも利用可能か)	△ 時間制約有	△ 時間制約有	○	○	◎
	場所 (どこでも利用可能か)	△ 通訳者の 確保必要	△ 通訳者の 確保必要	○	○	△~◎ インターネットへの接 続必要な場合有
	少数言語への対応	今後の改善に期待				
	供給量 (事業者は十分なサービス を提供できるか)	今後の発展に期待				
	..					
クオリティー	通訳技術・翻訳技術の 質の担保	関係者による自主的な質の担保に期待			技術の進歩に期待	
	患者の安心感・満足度・ 利便性 (顔が見えるか・ 複雑な場面で臨機応変 に対応可能か等)	患者の安心感・満足度・利便性を高める動きに期待				
	..					
コスト		高			低	
その他						

- ・ 外国人患者数の多
少
- ・ 医療通訳者の確保
の難易
- ・ 診察場面か受付か
- ・ 緊急場面か否か
- ・ 診療科目
- ・ 医療従事者の理解
等

- ・ 医療機関は必要とさ
れる場面に応じて、
適切なサービスを選
択する。
- ・ 医療通訳者やサービ
スを提供している事
業者は、自主的なと
りくみを行う
- ・ 健全な市場の形成
等